

スペイン語教育の現状、スペイン語圏の魅力

セルバンテス文化センター東京 剣持 朋子

KENMOCHI Tomoko

1. セルバンテス文化センターとは

セルバンテス文化センターという名前を初めて知る方も多いと思います。1991年にスペイン政府により設立されスペイン語とスペイン語圏文化の普及に努める公的な文化機関です。セルバンテスという名前は多くの言語に翻訳されているスペインの有名な小説『ドン・キホーテ』の作者ミゲル・デ・セルバンテスに由来します。日本には5年前の2007年秋に初めて東京センターが設立されました。世界に約80の支部を持ち、東京センターは中でも最大規模を誇ります。地下3階、地上7階のビルには約160人収容する文化イベント会場のオーディトリウム、写真展、展覧会などを開催するギャラリー、19の教室、スペイン語のCD、DVD、本を14,000点以上所蔵しているフェデリコ・ガルシア・ロルカ図書館、テナントでスペインレストランとスペイン語書籍専門店が入っています。私共の機関の具体的な役割を紹介します。

- DELE（外国語としてのスペイン語検定試験）の運営
- スペイン語コースの運営
- スペイン語教員育成コースの運営
- スペイン語圏にかかわる研究者への援助活動
- 外部組織と連携しつつ、スペイン語圏にかかわる文化活動の振興

a) スペイン語コースの運営

センターへ通う通学コースとAVE（オンラインコース）と大きく分けて2種類あります。欧州評議会の言語に関する欧州評価基準に従って言語レベルを6段階（A1, A2, B1, B2, C1, C2）に設定しています。通学コースではスペイン語総合コース以外にも会話・文法・読解を重点的に学ぶコース、4歳～12歳を対象とした子供の



セルバンテスのクラスの様子

ためのスペイン語コース、バルセロナを州都とするカタルーニャ州の公用語カタルーニャ語のクラス、時期によって日本人のスペイン料理シェフやソムリエによるスペイン料理、スペインワインに関する文化コースも開講し、コースの種類は多岐に亘ります。講師はネイティブでスペイン語教授法を学んだエキスパートです。AVEはオンライン

上でスペイン語を学習するとはいえ、6種類のコースを設け、講師付きコースではemailやスカイプを通じてネイティブ講師に質問ができます。またスペイン語クラスの補助教材としてAVEを導入している大学も多数あります。当センターではスペイン語圏への留学斡旋業務は行っていませんが、一定の基準を満たしている学校はセルバンテス文化センター認定校としてみなされ、対象の語学学校をインターネットで検索できるシステムがあります。

URL <http://eee.cervantes.es>

b) DELE (外国語としてのスペイン語検定試験) の運営

DELE(Diplomas de Español como Lengua Extranjeraの頭文字、日本語では「デレ」と発音)はスペイン教育文化スポーツ省の元、スペイン国外ではセルバンテス文化センターが実施する検定試験です。100カ国以上での受験者総数は2011年で62,293、日本では1,700です。国際的に通用するスペイン語の認定証とみなされていて、留学やスペイン語で仕事を探すときのスペイン語のレベルの目安としてDELEの合格レベルを問われることもあります。DELEの資格を持っていることにより、スペイン語で仕事を探す際に有利になることや、語学学校のコース選びの際にも役立ちます。スペイン語コース同様6レベルを設定、5月、11月の年に2回(東京では8月も)テストを実施しています。1990年に日本で導入された当初(当時はスペイン大使館が実施)、受験会場は東京と京都のみでしたが徐々に増え、2012年11月には7都市で受験できるようになりました。

c) スペイン語圏諸国の文化普及活動

もう一つの大きな役割がスペイン語圏の文化普及です。スペイン語を公用語とする国は21カ国で、それぞれが豊かな文化、歴史を持っています(表1参照)。年間通して文学、歴史、映画、アート、展覧会など年間200近くの無料の文化イベントを開催、受講生に限らずどなたでも自由に入場・参加することができます。これまでに開催した主なイベントは2011年ノーベル文学賞を受賞したマリオ・バルガス＝リョサを迎えての講演会、大江健三郎氏とスペイン作家による対談、ゴヤ展覧会、などです。今年2012年12月18日まではピカソの展覧会「スイート・ポラール」を開催中です。また毎年6月にはスペイン語とスペイン語圏の文化の多様性を祝いするイベント「スペイン語の日」が、世界中にある全てのセンターで行われています。



2012年スペイン語の日

表 1 21 カ国のリスト

国	人口
メキシコ	112,336,538
コロンビア	46,485,485
スペイン	46,185,697
アルゼンチン	40,117,096
ペルー	28,220,764
ベネズエラ	27,150,095
チリ	17,402,630
グアテマラ	14,713,763
エクアドル	14,483,499
キューバ	11,241,161
ドミニカ共和国	9,378,818
ボリビア	10,426,154
ホンジュラス	8,385,072
パラグアイ	6,337,127
エルサルバドル	6,183,000
ニカラグア	5,815,524
コスタリカ	4,301,712
プエルトリコ	3,725,789
パナマ	3,406
ウルグアイ	3,251,526
赤道ギニア	720,000
合計	416,864,856

出典：2010年以降各国からの調査

2. スペイン語の現状

スペイン語の発音は日本語に非常に近いということと、英語に似ている単語も多く、外国語の中でもとても親しみやすい言語です。友人同士の挨拶は→¡hola!（「オラ」と発音）、お茶は té（「テ」）、コーヒーは café（「カフェ」）などです。また、生活の中で知らないうちにスペイン語を使用していることがあります。エスペランサ、リブロ、バル、などマンション、商品、お店の名前で耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

日本の文部科学省が 2009～2010 年に実施し、2010 年に発表した『大学における教育内容等の改革状況について』（※1）によると 2008 年現在、大学の学部段階で外国語を開設している学校数は各言語ごとに英語 731、中国語 621、フランス語 536、ドイツ語 525、朝鮮語（韓国語）450、続いてスペイン語 240 と発表されています。

高等学校でのスペイン語教育にも注目すると同じく文部科学省発表が 2010 年に発表した『高等学校における国際交流等の状況』（※2）の調査報告によると、外国語を開設している学校数は 2009 年 6 月現在で中国語 831、朝鮮・韓国語 420、フランス語 373、スペイン語 143 です。

ところが世界に目を向けると外国語としてこれらの言語を学んでいる割合を表

すデータでは、英語が 69%、続いてフランス語 7%、スペイン語 6%、ドイツ語 5%、中国語 2%という結果が出ています（※3）。

セルバンテス文化センター本部の調べによると 2006 年～2007 年と 2009 年のデータでは世界中でスペイン語を勉強している学生は 86 カ国で 180 万人、そのうち日本人は約 6 万人と発表されています。セルバンテス文化センターの受講生も 1993 年～2011 年で約 13 倍、16,926 人から 227,185 人へと増加しました（※3）。東京センターでは 2011 年のデータでは全てのコースで 1,000 人を超える方がスペイン語コースを受講しました。

さらに興味深い数字があります。スペイン語は現在中国語に次いで 2 番目に多く話されている言語です。コミュニケーション言語としても英語に次いで第 2 位、総話者数は約 5 億人に達します。スペイン語人口数では、メキシコに次いで、アメリカ合衆国がスペインを抜き世界 2 位となっていて、その総数は 5 千万人を数えます。

このような数字からもわかるように世界的にはスペイン語への期待は高まっています。

3. 今後のスペイン語の可能性

コロンブス、ガルシア＝マルケス、ガウディなどの歴史上の著名人から、最近ではノーベル文学賞受賞作家マリオ・バルガス＝リョサ、アカデミー賞助演女優賞受賞ペネロペ・クルス、スポーツ界では 3 年連続で世界年間最優秀選手「FIFA バロンドール」に選ばれた F.C.バルセロナ所属のリオネル・メッシなど皆スペイン語圏出身です。そしてワールドカップサッカーではウルグアイ、アルゼンチン、スペインがこれまで優勝をおさめています。

このように文学、歴史、スポーツ、芸術の様々な分野においてスペイン語圏の人物が世界で活躍しています。スペイン語を勉強し始めるきっかけとして趣味から入る人が多いのも特徴です。旅行、食文化、ダンス、スポーツ、特にスペイン語圏にはマチュ・ピチュ、イグアスの滝、サグラダ・ファミリアに代表される世界遺産が多く点在（スペインはイタリア、中国に次いで 3 番目に多い登録数）、食材が豊富、各国に長く伝わる歴史や踊り、サッカー、野球など世界的に有名なスポーツ選手を多く輩出するなど興味深い国々ばかりです。スペインのフラメンコにおいては（フラメンコ愛好者を除き）フラメンコを習っている人口は本国スペインよりも日本が上回っているとも言われています。2010 年アルゼンチンで開催された第 8 回タンゴダンス世界選手権（Tango Dance World Championship）ステージ部門では日本人とアルゼンチン人のペアが優勝しています。またスペインや特に中南米の国々は一昔前に比べアクセスもよくなったことから若い人だけでなく、年配の方々も訪問するようになりました。これらの国では歴史や文化が融合して生まれた食文化だけでなく想像を絶するような大自然に触れることができる魅力があります。スペイン語が少しでも分かるとその国の人々と交流することができ、旅の楽しみは更に広がります。

またこれらの国々は経済的にも急速な発展が期待されています。統計によると

共通の言語を話すことで相互間の取引が上昇することを示しています。英語では240パーセントのところ、スペイン語においては290パーセント上昇するだろうと言われています（※3）。

2007年以降、スペイン語を母国語とする人々の購買力は北米に住む少数派グループの中では、アフリカ系アメリカ人を上回り、最も高いという統計もあります（※3）。

スペイン語が話せることは世界の扉を大きく開くことができる鍵なのです。



サグラダファミリア（写真提供：スペイン政府観光局）

4. スペイン語の市場拡大に向けて

語学コースの運営、文化普及活動に加え、スペイン語そのものの需要を掘り起こし、そして学習している人にとってメリットとなる機会を増やすことも必要です。そのため、他機関とも協力し様々な活動を行っています。

a) 日本初！今井翼さんをスペイン文化特使に任命 セルバンテス文化センター東京にて

2012年6月14日、ジャニーズ事務所所属の人気アイドル、今井翼さんのスペイン文化特使任命式が当センターで開催されました。今井さんはここ数年、新聞雑誌、テレビそして自身のコンサートを通じてスペイン文化とスペイン語の普及に努めています。またスペイン語を学び、実際にスペインを訪問しフラメンコを学ぶということを実践していることなどがミゲル・アンヘル＝ナバロ在日本スペイン大使と当時のセルバンテス文化センター東京の館長（ビクトル・ウガルテ、2012年9月まで就任）の目に留まり高く評価され、任命式開催の運びとなりました。スペイン文化特使とは、スペイン文化を愛し、スペイン文化とスペイン語を日本の皆様に広める影響力を持った方に任命される名誉職です。日本で同職が任命されるのは今回が初めてとなりました。

今井さんを通じて若い世代にもスペイン語やスペイン文化が広く普及し、興味を持ってくれることと信じています。

b) セルバンテス文化センター東京主導のもと在日スペイン語圏 19 カ国の大使が文部科学大臣に書簡を提出。大学入試センター試験へのスペイン語導入を要請。

2012年7月12日在京のスペイン語圏 19 カ国の大使が大学入試センター試験において、選択言語のひとつにスペイン語を導入することを望む書面を文部科学省平野博文大臣（当時）に提出しました。本要請は、セルバンテス文化センター東京の発意により調整されたものです。書簡では、大学入試センター試験は開始時より英語、フランス語及びドイツ語、を選択言語、後に中国語（1997年）及び韓国語（2002年）が選択言語として追加されたものの、スペイン語はまだ含まれていないことを指摘しました。

スペイン語を選択言語に含むという要請は、日本の教育制度において大きな意味を持ちます。これまで述べたように世界的に主要言語であると共に、スペイン語の導入が日本の若者のコミュニケーション能力に更なる多様性と国際化をもたらし、日本とこれらスペイン語圏諸国 21 カ国との相互関係に利益をもたらすものであると確信しているからです。



文部科学省へ書簡提出

5. 日本におけるスペイン年、2013年より開催

来年 2013年 10月 から 2014年 4月 にかけては「日本におけるスペイン年」を迎えます。支倉常長率いる慶長遣欧使節団が派遣されてから 400 周年を迎えます。日本からスペインへの公式な使節団の派遣であり、その後の日本とスペインの関係のきっかけをつくったことを記念するものです。

当センターではノーベル文学賞受賞者マリオ・バルガス＝リョサ氏を迎え講演会、スペインの象徴的な時代の写真展、スペインと日本の楽器による音楽コンサート、スペイン語教授とのスペイン語の価値についてラウンドテーブルなども予定しています。

日本、スペイン間の交流事業として「慶長遣欧使節団の出発地であった仙台へ使節団の日本人の血を引くスペイン在住の子孫が表敬訪問することや、ユネスコ世界遺産で姉妹道と認定されているサンティアゴ巡礼道と熊野古道の関係者の相互訪問」なども計画されているようです。

今後スペイン語は英語に匹敵する重要な言語になることは間違いありません。スペイン語圏諸国の魅力をこの中だけで語ることは非常に難しいことです。まずは当センターを訪れ文化の多様性を知っていただければ嬉しいです。また、スペイン語圏の文化に少しでも興味を持っているのであればスペイン語を勉強することをおすすめします。スペイン語が少しでも分かることで生活や気持ちも豊かになり、世界はみるみる広がっていくことでしょう。

お問い合わせ先

セルバンテス文化センター東京

住所 102-0085

千代田区六番町 2-9 セルバンテスビル

電話 03-5210-1800

<http://cervantes.jp>

メール info@cervantes.es

参考文献

1) 文部科学省 高等教育局大学振興課大学改革推進室学務係 大学における教育内容等の改革状況について（平成 21 年度）2012 年 10 月時点で最新の情報

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/1310269.htm

2) 文部科学省 初等中等教育局国際教育課『高等学校における国際交流等の状況』2010 年発表。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/01/_icsFiles/afieldfile/2010/01/29/1289270_1_1.pdf

3) EL ESPAÑOL: UNA LENGUA VIVA. Informe 2012 Instituto Cervantes

Créditos: INSTITUTO CERVANTES

http://eldiae.es/wp-content/uploads/2012/07/2012_el_espanol_en_el_mundo.pdf